

いりなか商店街発展会

昭和区・杵中地区

「紅葉まつり」は2012年、八事山興正寺の企画で始まったという。もともと八事山は紅葉の名所だったので、訪れた人に紅葉を愛でながらイベントを楽しんでもらおうと考えた。その一つで人力車を走らせることを思いつき、どうせなら杵中地区まで走らせることにした。それで、いりなか商店街に協力を求めてきたので、商店街側もブース

昭和区の地下鉄いりなか駅周辺に点在している店舗からなる、いりなか商店街は、高級住宅街が広がり、大学、高校などが多い文教地区にある。古からの住民、学生、若いサラリーマンと客層が幅広く、医療機関、塾、美容室が多いのも特徴。そのいりなか商店街が近年、八事山興正寺との共催で「紅葉まつり」を始めた。興正寺と商店街、それぞれにブースが並び、ステージイベントを行い、問会場を人力車が走るお祭りだ。

名古屋

情報は名古屋デスクへ

TEL052(561)5212
FAX052(561)5207

購読のお申し込み

0120-605-1231
0時~18時(日・祝日除く)

WEBでのお申し込み

<http://www.chukai-news.co.jp>

不動産賃貸仲介・管理・売買
名古屋の部屋探し

お部屋探しCOFFEE
ONLINE
ONLINE
POINT

街を創る

町走る人力車が名物企画に

を並べることに。紅葉を楽しむメイン会場は八事山興正寺だが、杵中地区でも飯田街道旧道の駐車場にフリーマーケットや露店、工作教室のブース、「いりなかファンクラブ」といった団体も参加している。南山大学付属小学校の琴のグル

を並べることに。地域の町内会、子ども会、幼稚園、保育園、小学校、中学校、大学、須佐之男神社などが協力。八事山中歴史研究会、地元の消防団も警備などを担当してくれている。南山大学付属小学校の琴のグル

興正寺と商店街がタッグ いりなか「紅葉まつり」



商店街がブースを出した、いりなか会場

地域の町内会や学校が協力

ブ、リコーダーのグループは、興正寺会場に出演。14年11月には3回目となる紅葉まつりが開催される。ハンドマッサージ体験、新しく「地域神社仏閣め



八事山興正寺からいりなかまで人力車で

また、JR東海の「さわやかウォーキング」も同日開催され、参加者が鶴舞から興正寺まで歩き、ウォーキングとともに紅葉まつりも楽しんだ。ブースの数も増え、年々規模

地域の人たちを巻き込んで活性化



いりなか商店街発展会会長
坂井 謙介さん

いりなか商店街で40年以上続く坂井歯科医院の院長でもある坂井さんは、「街に住む人が安心して、安全に楽しく暮らし、この街を好きになってくれることが大切だ」と語ってくれた。発展会なので大きな力はない。しかし、小さくてもできるこ

とから少しずつ始め、できないことは機が熟すまで待ち、街づくりを進めている。そんな中で、徐々に大きなイベントに成長してきた紅葉まつりは、継続が一番の目標。そのためにはブースをより充実させ、ステージイベントにも、地域の人たちをもっと巻き込もうと考えている。特に小学校や中学校、高校の児童・生徒たちにもさらに活躍してほしいという。

キッズドラム体験などのブースが出て、ちんどんやが実演したり、おでんやとん汁、五平餅、カレーうどん

いき、2004年には振興組合を解散して
発展会となった。

12年、坂井謙介さんが発展会会長となっ
たころから、いろいろ新しい展開がスター
ト。例えば、ホームページを充実させた。
特にこまめに更新しているのがお店訪問の
「いりレポ」で、レポーターが商店街の店
舗を回り、毎月2店舗ずつ紹介してくれる。
これはフェイスブックにもアップしてい
て、「イイネ」が増えているという。もち
ろんイベントの告知や開催レポートなども
随時載せている。

二十数店舗になっていた会員数も、この
3年ほどで倍近くの60くらいに増えた。地
元だけではなく、遠方の人や店舗も賛助会
員として参加してくれている。会員たちが
こまめに声をかけ、入会を誘っている成果
でもあるという。坂井さんは「商店街と関
わることは地域とつながるといふこと」と
力を込める。そのため、いわゆる「商店」
ではなくとも、塾、寺社仏閣など、地域の
ことを考えている人が参加してくれる。

新しい動き活発

商店街のミーティングの様子



3年で会員倍増、参加者は多彩

1977年、地下鉄鶴舞線の開通を機に、
いりなか商店街振興組合が発足された。当
初は組合員数も80以上でスタートしたが、
ほかの商店街同様、その後は店舗が減って

学区のイベントに積極参加

いりなか商店街発展会会長の坂井さん
は、東日本大震災をきっかけにコミュニテ
ィーの形成が重要だと気づき、地域住民と
の連携を強くするようになったという。商

店街を地域に根付かせるため、学区や町内
会の活動への協力を始めた。

2年前から滝川学区のお楽しみイベン
ト「親子ふれあいフェスタ」に参加し、昨年
から共催にも加わった。商店街賛助会員の
駄菓子屋が出店するなどし、ブースが面白
くなったという。同じく賛助会員の英会話
教室がアフリカのシンパブエ出身で、シン
パブエ料理の店を出し、これも非常に好評
だった。

コミュニティ形成

滝川学区では防災訓練の炊き出し訓練に
も米を寄付。また、町内会の防災訓練に参
加したり、須佐之男神社の秋祭りに協力・
協賛している。名東区の西山商店街の夏祭
りにも、いりなか商店街の米穀店が五平餅
販売で参加した。西山商店街の駄菓子屋が
いりなか商店街の賛助会員になっているこ
とから生まれた交流によるものだ。

このほか、毎月2回、地域清掃も実施。
地域とのつながり、人の交流を大切にして
いる。「紅葉まつり」も、そうした地元と
の交流があつてこそのお祭りだという。

「滝川学区親子ふれあいフェスタ」にブースを出店

